逆転エンゲージメント～悪名高い御曹司が私にだけ甘すぎる～の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	逆転エンゲージメント～悪名高い御曹司が私にだけ甘すぎる～の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	逆転エンゲージメント～悪名高い御曹司が私にだけ甘すぎる～を読んだことのある10代～50代の男女41名
調査期間	2025年4月18日～2025年5月9日 2025年5月26日 2025年7月9日 2025年8月1日 2025年9月5日 2025年9月26日 2025年10月31日 2025年12月5日 2026年1月9日 2026年1月26日 2026年3月6日 2026年3月25日 2026年5月1日 2026年6月10日 2026年7月8日 2026年8月12日 2026年9月10日 2026年10月14日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/gyakutenengezimento/

■アンケート項目

Q1：年代と性別を教えて下さい。
Q2：逆転エンゲージメント～悪名高い御曹司が私にだけ甘すぎる～を実際に読んだ感想を教えて下さい。

Q1：年代と性別を教えて下さい。

10代男性	1人
10代女性	0人
20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	0人
30代女性	5人
40代男性	11人
40代女性	8人
50代男性	16人
50代女性	0人

Q2：逆転エンゲージメント～悪名高い御曹司が私にだけ甘すぎる～の感想を教えて下さい。

逆転エンゲージメントの1話～5話	最初は横柄で残念な人かと思いましたが、意外にもよい人でびっくりしました。いくら親族とはいえ、恵梨香が気軽に相談しに行っている時点で気難しい人そうではなさそうだってわかりましたけど。その後の悪だくみも面白いですね。まさか直樹の婚約者だった志乃と婚約するだなんてびっくり。これには直樹だけでなく妹の陽真理も驚いていました。この婚約は色んな影響を与えていきそうですし、この先どうなるのかとワクワクしました。
逆転エンゲージメントの1話～5話	直樹さんと陽真理の志乃に対する仕打ちが本当にひどくて、志乃を見下しているのに外面が良い2人には、いつかバチが当たって本性がみんなにバレてほしいと強く思いました。そして志乃にはまず専務のアドバイスに従ってオシャレすることで直樹さんに後悔させたり、社長になった専務と本当に婚約して、幸せになることで陽真理を見返してほしいです。
逆転エンゲージメントの1話～5話	タイトルにもあるようにその後、主人公の逆転快進撃が続くわけですが1から5話はまだまだドロドロが目白押しで気持ちが萎えてしまいます。結婚すると思っていた相手が実は二股をかけていた、それも自分の妹と。自分は単なる当て馬に過ぎずすでに妹と具体的な話が出ている。最悪すぎますよね。浮気してごめんなさいと謝るような相手ならばまだ救いようがありますが、無視した挙句に最低な噂を立てて、直樹もクズです。血のつながりと言いますが、妹とヒロインで全然違う。そして直樹らの兄妹も善悪が分かれていて、ぜひ今度こそ幸せになってほしい。早くスカッとをと次々と読み進めてしまうこととなります。
逆転エンゲージメントの6話～10話	すっかり自信を失ってしまっている志乃。そりゃ身内と愛した人の両方から裏切られているのですから当然でしょう。そんな彼女を大きく包み込んでくれる正行。素敵な男性と出会うことができました。ただ、彼自身も昔そうだった、みたいな言い方が気になります。もしかして彼も裏切られた過去を持っているのでしょうか。でもつらい過去から立ち直ったのですから、志乃も同じく前を向いてもらいたいです。正行と直樹の対比が服装選び一つとっても明らかになって、こんな奴とは別れて正解です。
逆転エンゲージメントの6話～10話	子どもの頃からずっと、家庭でも学校でも辛い目に遭ってきたなんて、志乃の境遇が予想以上にかわいそうで、思わず涙ぐんでしまいました。それを知って本気で憤ってくれたり、的確な言葉でフォローしてくれた政行さんにとても頼りがいを感じます。政行さんは志乃を憎からず思っている

	ようですし、そんな彼に志乃が惹かれるのは時間の問題だと思われるので、はやく両想いになってほしいです。
逆転エンゲージメントの6話～10話	まだまだ戸惑うことの多い志乃に対して、政行のフォローがすごいと思います。志乃は現状に対しての不安がすごく強いんですよね。だから、何かあってからではなく事前にちゃんと政行に対して言っているんだと思います。これもまた勇気のあることだなと思いました。そして、そんな志乃の不安を優しく、時には力強く包みこんでくれる政行の性格がとにかく光る話です。
逆転エンゲージメントの11話～15話	予想通り、志乃を手放すのが惜しくなった直樹さんと、今度は政行さんを略奪する気満々の陽真理ですが、ちゃんとハッキリ意思表示しているのに伝わらず、すべての物事は自分に都合良く運ぶはずだと考えていそうな2人の態度にちょっとゲンナリしてしまいました。今のところは直樹さんのほうが積極的に動いている印象ですが、陽真理は反省とは無縁のタイプに見えるので、いくら拒絶されても諦めず、そのうち政行さんにアピールするより志乃を蹴落とす方向へ舵をきりそうで心配です。
逆転エンゲージメントの11話～15話	これまでの仕打ちでそれでまだ志乃と付き合っていると思っている、そして支配しようとしている。とにかく直樹がヤバすぎます。そんな彼女を護ろうと偽装婚約をする正行。婚約することで他の女性が近づいてくることはなくなり、もしも別れたらいらないうわさが広まる。それでもいいからと実行する正行はとにかく優しいです。気遣いの人、すばらしい。
逆転エンゲージメントの11話～15話	せっかく高級なタワマンで一緒に暮らすことになったのに、直樹からの連絡が本当に不気味でした。でも、直樹がいるからこそ、より政行がよく見えるんだよなぁという気もします。政行は志乃のことを考えて最初から一緒に寝るのではなく、ちゃんと寝室も別にしています。そういうところが、やっぱり自分勝手な直樹とは全然違いますね。
逆転エンゲージメントの16話～20話	本当に直樹の言動が面白すぎますね。今まで志乃に対してあれだけ冷たいことをしてきたくせに、いざ自分の元から志乃がいなくなってしまうと思うや否や惜しくなったのか執拗にストーカー行為を展開してしまう姿がとても興味深かったです。でも志乃にはもう政行という信頼できる相手がいるので直樹の出る幕はありませんね。早く諦めて欲しいです。
逆転エンゲージメントの16話～20話	志乃と政行の関係がとにかく微笑ましいですね。一緒にジュエリー店へ行って指輪を選んでいる姿はまさにカップルそのものですね。偽装婚約という形からスタートはしましたが、もう二人の間には愛の炎がメラメラと燃えているようにも見えました。でもあっさり結婚してしまったら、なんだかつまらなくなりそうなので、このくらい焦らされている時が一番面白いです。
逆転エンゲージメントの16話～20話	電話で志乃と政行さんがラブラブであることを思い知らされた直樹さんが、意気消沈するどころかますます志乃への執着を強めていて、プライド高そうなのに意外と諦めが悪いと感じました。その後の志乃と政行さんが指輪を買いに行くくだりは、2人がとても良い雰囲気でしたし、お互いに相手を意識していることが伝わってきてワクワクしました。
逆転エンゲージメントの21話～25話	志乃が段々とメンタル的にも女性的にも成長していく姿がとても面白いです。今までだと、ちょっとネガティブなことを言われたらすぐに落ち込んでしまう志乃でしたが政行の行為によって自己肯定感が芽生え始めて強気な姿勢が取れるようになっていたのは良かったですね。やっぱり人の気持ちというのは変わるんだということを志乃を見ていると実感します。
逆転エンゲージメントの21話～25話	今までは不安の方が強く見えていた志乃でしたが、ついにハッキリと言い返せるようになった感動。これも全て、政行をはじめとする周りからのポジティブな影響だと思います。元々志乃は何でもかんでも悪く考えていたわけではありません。少しずつ自分の不安を表現できるようにはなっていましたたが、今までとは全く違う進歩が見えてこちらもうれしくなりました。
逆転エンゲージメントの21話～25話	この漫画の面白いところがすごく出ている話だったと思います。ただの恋愛関係ではなく、会社を巻き込んで壮大なお話になっているところが好き。何より会長さんは、志乃と政行のことを応援してくれているのが良かったです。何より、ちゃんと二人の関係性を見抜いているところが素晴らしい。逆に社長側は直樹を支持しているので、社内の対立構造がハッキリ見えて面白かったです。

逆転エンゲージメントの26話～30話	本当に陽真理の言動には目を見張るものがありますね。この陽真理なのですが、作中直樹がパニックになり暴れ回っている姿を見てすぐに彼を切り捨てた場面はとても笑えました。政行の魅力に気づき志乃に政行を「シェアしよう」なんて提案した場面は本当にどうかしていると思いましたね。この作品は本当に変わり者が多くて見ていて全く飽きません。
逆転エンゲージメントの26話～30話	本当に陽真理のひねくれ度合いはすごいですね。自分が志乃よりも下の位にいくのが納得できない様子で、あの手この手を使いなんとか這い上がろうと行動する姿が凄まじいです。社長夫人になれると本当に思っていた感満載で色々な演技を見せてくれるので見ていてめちゃくちゃ面白すぎます。この作品には、なくてはならない悪役として君臨していることは明白ですね。
逆転エンゲージメントの26話～30話	とにかく陽真理の悪あがきにドン引き。そして、それがうまくいかないとわかった時のすっきり感がすごかったです。そして、ついに政行も志乃に対する気持ちを強く認識することになり、ずっと読んでいたこちらとしては感動してしまうほどでした。何より厄介なきょうだいに悩まされてきた二人が、ようやく解放されたのがすごくうれしかったです。
逆転エンゲージメントの31話～35話	この作品はキャラ同士の心理描写がめちゃくちゃ丁寧に描かれているので、すごくワクワク感を刺激されますね。メインキャラは志乃、政行、直樹、陽真理なのですがそれぞれの思惑が本当にトラブルを引き起こしていくのでめちゃくちゃ笑えます。個人的に直樹の言葉がなんだか結構人間らしい部分もあって面白いです。側から見ていると変なところが多いのですが志乃に対しての愛情は人一倍強い感じに見えるので必見です。
逆転エンゲージメントの31話～35話	政行が志乃に対して嫉妬してしまう姿がとても色っぽかったですね。やっぱりイケメンがやきもちを妬いている姿を見ると胸キュンしてしまいます。そんな政行は今まで志乃のために色々な努力をしてきましたが、その結果がようやく身を結ぶ形になるのでなんだかすごく嬉しかったですね。志乃と政行が二人で愛を確かめ合っている姿は最高です。
逆転エンゲージメントの31話～35話	父親の再婚によってできた義理の母親との関係が良くないという共通点が見つかったり、手違いにより一緒の部屋で泊まることになったりと志乃と政行さんの距離がさらに縮まるイベントがあって、本物の恋人同士になるまで本当にあとちょっとという感じで、２人の背中を押してあげたくなりました。志乃だけでなく政行さんもアワアワしてしまっているのが可愛かったです。
逆転エンゲージメントの36話～39話	この作品のメインキャラ政行の優しさの部分に注目してしまいましたね。志乃に対して、どうしてここまでのことをしてくれるのか本当に彼は天使のような心の持ち主だと常に思ってしまいます。志乃の気持ちを優しく慮ってくれて、こんな完璧な人なかなかいないと彼を見ていると強く感じてしまいます。物語が進むに従いその思いも強くなりより政行の好感度も上がっていきますね。
逆転エンゲージメントの36話～39話	直樹を陥れる作戦が成功したことで政行と志乃の関係にもまた一つ変化が生まれて二人の信頼関係がまたしても強固なものになった姿がたまりません。やっぱり同じ目的を持つもの同士は仲良くなるということを見事に体現しているようでしたね。最初の志乃の自信なさげな姿からすると今の志乃は本当に強い女性に見えてきますね。それだけ政行に影響されたのでしょう。
逆転エンゲージメントの36話～39話	直樹は本当にメンタルが鋼と言っていいくらい強いですね。志乃がまだ自分に気があると思い込んでいるポジティブさには本当に頭が下がります。志乃はもう直樹に対して特別な感情など何もないと思うので本当にいい加減わかって欲しいですね。物語が進むに従い直樹のおかしさが如実にわかってくるのでその部分を見ていくのが凄く面白いです。
逆転エンゲージメントの41話～42話	政行と志乃の仲睦まじいシーンにホッコリしました。これって婚約者契約をした時に理想としていたカップルのイメージに近いんですよね。駄々っ子のような政行を志乃が上手に転がすという感じがして。この二人なら良い夫婦になれそうですし、計画通り政行が社長になれそうだと感じました。志乃の成長っぷりを見れたのも良かったです。政行の影響を受けたとはいえ、まさかここまでやってくれるとは。正面切って直樹を拒絶したシーンには痺れました。
逆転エンゲージメントの43話～45話	よく頑張ったと志乃を褒めてあげたくなりました。これまでの志乃だと、あそこまで直樹に抗えなかったと思います。最後に抵抗したからこそ、政行が間に合ったわけで。以前に比べて成長したなと感心しました。気になったのは直樹の動向です。政行にあれだけ言われても全く懲りていな

	い様子。陽真理を巻き込んでまで、まだ何かするつもりなのかと呆れました。
『逆転エンゲージメント～悪名高い御曹司が私にだけ甘すぎる～』46話～48話	志乃と政行の関係が思ったより順調でホッコリしました。何気に政行が志乃を毎朝迎えに行くようにしたのがファインプレーだったと思います。斎藤を外すことで二人きりの時間を持てるようになったわけですし、これでは毎朝二人でデートをしているようなもの。恋人同士のような関係になっていく二人が微笑ましくて癒されました。気になったのは直樹の動向です。まさか政行と揉めた場面を持ちだしてきて炎上工作をし掛けてくるとは。次期社長任命も控えているわけですし、これがどのような波紋を生み出すのか気になりました。
『逆転エンゲージメント～悪名高い御曹司が私にだけ甘すぎる～』50話	政行の慌てる姿を微笑ましく感じてしまいました。どちらかというと恋愛にはサバサバしていそうなイメージが強いだけに、ギャップが凄いといいましょうか。また、志乃を愛するが故にちゃんと告白出来ないっていうのも良かったです。普段堂々としているだけに、それだけ志乃に本気なんだと伝わってきました。ただ、やり過ぎた感も覚えました。途中で恵利香が邪魔に入りましたけど、恵利香は二人の仲を応援している立場なので本来なら間に入ったりはしないはず。政行の暴走が目に余ると感じたからでしょうし、もう少し慎重にアプローチして欲しいですね。
『逆転エンゲージメント～悪名高い御曹司が私にだけ甘すぎる～』51話	政行の真意を知れてスッキリしました。結構疑問だったんですよね。女性に奥手でもない政行が何故志乃に想いを伝えていなかったのかが。本当に志乃を愛しているんだとわかって良かったです。炎上事件の進展には驚きました。ネットで一度炎上したら、なかなか沈静化なんてしないものですけどね。それだけ斎藤が有能だったということでしょう。この調子で犯人を調べ上げて欲しいです。
『逆転エンゲージメント～悪名高い御曹司が私にだけ甘すぎる～』52話～54話	今回で政行の地位が決定的なものになるかと思っていただけに、意外でした。直樹は社長からお叱りを受けていましたが、結局それだけで終わってしまったのですから。婚約者に陽真理を選んだのは浅はかかと思っていましたが、こういう場面も想定してのことだったんでしょうね。思った以上にやる男だと驚きました。気がかりなのは最後の展開です。このまま直樹が終わるとは思っていませんでしたが、想像以上に手回しが早かった模様。どんな手を打ってきたのか注目したいです。
『逆転エンゲージメント～悪名高い御曹司が私にだけ甘すぎる～』56話～57話	直樹に政行達の秘密を知られたのは痛いですね。政行と志乃が付き合っていると思っていた時ですら、直樹は執拗に志乃を狙ってきました。偽装だとわかったとなれば、これまで以上のアプローチをしてくることは間違いありません。かなりエグい手段を取ってきそうで怖いです。また、陽真理の動向も気になります。志乃のすべてを奪いたいと思っている陽真理からすると、政行達が付き合っていないというのは朗報でしょう。どうやって政行に取り入るつもりなのか、注目したいです。
『逆転エンゲージメント～悪名高い御曹司が私にだけ甘すぎる～』58話～59話	正直、こんなに長引くとは思っていませんでした。政行は男らしく、行動力のある男性です。であるなら、プロポーズにそこまで時間がかからないだろうと思っていました。それだけ志乃が政行にとって大切な女性になっていたのでしょうね。ともあれ、プロポーズがうまくいったようで安心しました。気がかりなのは直樹です。直樹は政行と志乃の関係が偽りだと考えています。二人が本当の婚約者になったことを知らず、何か問題を起こしそうなので注目しています。
『逆転エンゲージメント～悪名高い御曹司が私にだけ甘すぎる～』60話	政行のギャップが良かったです。寝ている時に志乃は沢山汗をかいているでしょうし、汗臭さを気にすることは間違いない。そう考えて、政行はシャワーの準備をしてくれていました。気配りが出来ていて、紳士っていう感じがします。その一方で、子供のような一面も見せてくれるんですよね。志乃から好きだと言われ、無邪気に喜ぶ姿は微笑ましいものがありました。そういったギャップに好意を感じている志乃との相性は良いと思いますし、二人には幸せになってほしいですね。
『逆転エンゲージメント～悪名高い御曹司が私にだけ甘すぎる～』61話	志乃の盛り上がり方がとても可愛らしくて素敵ですね。実際のところ、政行にまだその気はないと思います。もちろん志乃を抱きたいという気持ちはあるでしょうが、志乃の体調を考えると普通は無理でしょう。政行は理性を取り戻したようですし、今回はここで終わるんだと思います。しかし、そんなことを志乃は知りません。ここまで激しくキスをしてきたのですから、政行がこれ以上求めてくることもあり得ると考えてしまう気持ちもわかります。そう考えて一人でドキドキしている様子がとても愛らしくて良かったです。

『逆転エンゲージメント～悪名高い御曹司が私にだけ甘すぎる～』62話～65話	あの状況で自分を抑えた政行を褒めてあげたいです。今してしまうと、志乃が体調を崩すかもしれない。その理屈は理解できても、実際に行動を抑えるのは簡単なことではありません。それだけ、政行が志乃のことを深く想っているのだと感じました。一方で、直樹の動向も気になるところです。ただでさえ政行たちはMSシステムのメンバーに受け入れられていない様子でした。そこに直樹の影響が加わるとなれば、単なる苦戦では済まないかもしれません。直樹がMSシステムの人たちにどのような手回しをするのか、今後の展開に注目したいです。
『逆転エンゲージメント～悪名高い御曹司が私にだけ甘すぎる～』66話	直樹自身は認めていないようですが、今回の状況を見る限り、これが本来の実力なのではないかと感じられました。これまで直樹が一定の成果を上げてこられたのは、志乃の支えがあってこそだったと考えられます。 言い換えれば、本来志乃が担っていた役割や成果に大きく依存していた可能性も否定できません。実際に志乃がそばを離れた途端、判断や結果において不安定さが目立つようになりました。このままでは、次期社長候補としての評価を維持することは難しいのではないかと感じられます。その変化の大きさは印象的であり、ある種の痛快さを覚えました。一方で、直樹の母の動向も気にかかります。すでにMSシステムの社員たちは政行に対して一定の敵意を抱いている状況にあり、これ以上関係が悪化すれば、政行にとっても対応が一層困難になるのではないでしょうか。彼女の暗躍がどのような影響を与えることになるのか、注目したいです。
『逆転エンゲージメント～悪名高い御曹司が私にだけ甘すぎる～』67話～68話	直樹の母が気になります。政行はNOGIシステムソリューションズに不審な点を感じると、すぐに対策へ動きました。志乃の気づきもあって問題を早期に察知できたため、今回の妨害は未然に防げたと言っていいのではないでしょうか。ただ、これで直樹の母が諦めるとは思えません。むしろ今回の件で警戒されていることを理解した上で、さらに巧妙な手段を講じてくる可能性もあります。今回の危機は乗り越えたものの、本当の勝負はこれからなのではないか。そんな不穏さを感じさせる展開でした。
『逆転エンゲージメント～悪名高い御曹司が私にだけ甘すぎる～』69話～70話	山中の実力には驚かされました。NOGIシステムソリューションズが複数人のスタッフを派遣していたことから、本来であれば一人で対処できるような作業ではなかったことがうかがえます。それにもかかわらず、山中は修理をあっさりとやり遂げてしまいました。改めて、山中が非常に優秀な技術者であることを実感させられました。一方で、気になるのは豊島の思惑です。食事の席では志乃に積極的に話しかけていたため、最初は単純に好意を抱いていて距離を縮めようとしているのかと思いました。しかし、会話の内容を見る限り、目的は恋愛感情だけではなさそうです。むしろ、志乃から何か特定の情報を引き出そうとしているようにも見えました。豊島は一体何を知りたかったのか。その真意に注目していきたいと思います。
『逆転エンゲージメント～悪名高い御曹司が私にだけ甘すぎる～』71話～72話	政行が、自身を嫉妬深い男だと認めたことに驚きました。絶対そういうことを口にしそうもないと思っていたんですけどね。まあ、それだけ志乃は政行にとって特別な存在だったということなんでしょう。二人を見ていると、微笑ましい気持ちになってしまいました。そして、二人はいよいよ一歩先へ進むことになります。志乃は直樹との間で、良い経験をしていないようでした。それだけに、政行には頑張って欲しいですね。
『逆転エンゲージメント～悪名高い御曹司が私にだけ甘すぎる～』73話	二人の相性が良さそうで良かったですね。志乃は以前直樹と付き合っていたわけですから、男性と関係を持つのは初めてではないでしょう。だからこそ、政行との相性が良いんだろうなと実感できました。あとは妊娠しているかどうかが気になりますね。
『逆転エンゲージメント～悪名高い御曹司が私にだけ甘すぎる～』74話～75話	直樹が思ったより孤立していて驚きました。これまで直樹が仕事で結果を残せてこれたのは、志乃のサポートが大きかったんでしょうね。部下たちの直樹に対する評価は最悪といっていいわけですけど、いずれこの噂は社内に広まると思います。そう考えると直樹が次期社長候補になれるとは思えませんし、直樹の結末が見えたような気がしました。

漫画全巻の部屋
by ㈱グリュックス